交通事故が減りますように
夏の交通事故防止運動を実施

7月15日、丹波市交通安全運動推進会議のメンバー25人が、夏の交通事故防止運動の一環として、春日町多田の国道を通行する車に啓発グッズなどを配布し、交通事故防止を呼びかけました。

丹波交通安全協会の伊藤武男さんは「最近はマスクをして運転することが多いため、前が見えにくいことがある。交通安全に気をつけてもらって、交通事故が1件でも減ってほしい」と話しました。

啓発グッズなどを配布するみなさん

熱中症から児童を守ろう！
観光バス会社が登下校を支援

新型コロナウイルスの影響で夏休みが短くなり、猛暑の中通学することになった小学生を熱中症から守ろうと、市内の観光バス会社3社（大伸観光・丸茂観光バス・大垣観光バス）が登下校時に無償で送迎バスを走らせる活動を行いました。

丸茂観光バス営業部長の岡本優一さんは「暑い中、長時間歩いて通学している子たちを心配していた。助けになれたら嬉しい」と話しました。

バスに乗り込む和田小学校の児童たち

久下自治振興会
毎週月曜に新鮮野菜市を開催

新鮮な野菜を買い求める地域のお客さん

7月20日、久下自治会館で、地域の住民が栽培した新鮮な野菜などを販売する「新鮮野菜市」とコミュニティ・カフェが開かれました。野菜市は約5年前から毎週月曜日に開催され、朝9時の開店と同時に多くの地域住民でにぎわいます。

久下自治振興会の清水邦泰推進員は「余った野菜の「おすそわけ」の気持ちで開催している。地域住民の交流の場になれば」と話しました。

風鈴の音色で「ほっ」として
高源寺で「風鈴祭り」開催

涼しげに響く風鈴の音色に足を止める参拝者

新型コロナウイルスの流行などで疲れた心を癒してもらおうと、青垣町桧倉の高源寺で8月下旬まで風鈴祭りが開催されています。高源寺保存会や地元住民らが飾り付けた約230個の風鈴が、もみじの参道に涼しげな音を響かせました。

同会の足立輝明さんは「最近は嫌なニュースが多いので、風鈴の音色でほっとしてもらえたら」と話しました。